地コミを設立して、こんなことが良くなった!!

① これまでできなかったことができるようになった!

② 行事を『重ねる』ことで負担の軽減&一石二鳥!

③ 地コミ同士の連携、自治会との連携

④ 地コミの運営の工夫

1 これまでできなかったことができるようになった!

【脇岬コミュニティ協議会】 千灯籠まつり賑わいを再び





担い手不足などにより長い間開催することができなかった 地域の伝統行事を地コミの主催事業として復活! 住民同士の交流や伝統継承のきっかけとなった!

【香焼地区コミュニティ協議会】 香焼文化フェスティバル×防災訓練





担い手不足で事業の継続が難しくなった公民館祭りを、地コミ主催で「香焼文化フェスティバル」にリニューアル! 地コミが開催することで、様々な団体からの参加者が増え、 継続することができた。

令和6年度は、同日に防災訓練を実施することで両事業への 来場者を増やす試みも!

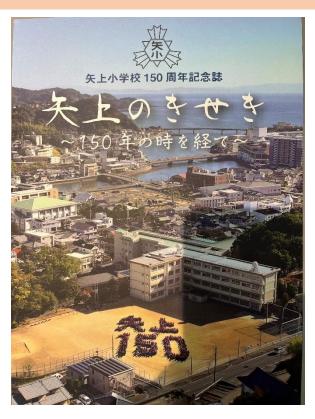
【西北校区まちづくり協議会】 協議会による自主防災組織の設立×自治会





自主防災組織の結成が難しい自治会もあったため、地コミが 主体となり地域全体で自主防災組織を設立し、各自治会と連 携しながら、避難所運営訓練を実施した。

【矢上みらいまちづくり協議会】 矢上150周年記念事業での地コミの周知





令和6年度、矢上は小学校創立150周年を迎え、それに伴い記念誌を発行した。またドローンを使った撮映動画や、式典フェスティバルの動画をYoutubeで公開して、地域住民に周知を図り、地コミの存在についてもPRした。

【古賀地区まちづくり協議会】 買い物支援事業





日常の買い物に不自由している人たちの支援のため、地域のスーパーの協力を得て古賀地区の10か所程度で移動販売を実施するようになり、高齢者等の買い物支援や交流にもつながった。

【村松小学校区まちづくり協議会】 子ども食堂





地域の有志から相談を受けた際に、地コミの中で各団体同士 の連携が取れていたからこそ、すぐに事業化することができ た。

【鳴見台小学校区コミュニティ協議会】 もうすぐ1年生、集まれ!!





校区内に保育園が無いため、新一年生となる児童や保護者同士の交流があまり無かったため、地コミで企画し、事業を実施することで新たな交流が生まれ、入学前の親子の不安を解消することができた。

② 行事を『重ねる』ことで負担軽減&一石二鳥!

【北大浦地区コミュニティ協議会】 シニア向けはじめてのスマホ講座 ×スマホ詐欺への注意喚起





スマホをうまく使いこなせていない高齢者向けにスマホ講座 を開催。このタイミングにあわせて講座内でスマホ詐欺に対す る対策を伝えることで、スマホを利用する高齢者に詐欺の注 意喚起も行うことができた。

9

【大園小校区コミュニティ協議会】 ハロウィン×子ども110番の家×高齢者の生きがいづくり





ハロウィンを楽しみながら、郵便局や高齢者福祉施設などの子ども110番の家を確認して周る「防犯啓発イベント」を開催。子どもたちの衣装を高齢者福祉施設の利用者が製作するなど、高齢者の生きがいづくりや地域の多世代交流にもつながっている。

【にししろ山コミュニティ協議会】 にししろっこ秋まつり (小学校日曜参観×防災)





小学校の日曜参観の一環として、地域の交流と避難訓練を組み合わせたイベントを開催!

ウォークラリーで地域の歴史を知るきっかけにも!

② 行事を『重ねる』ことで負担軽減&一石二鳥!

【鳴見台小学校区コミュニティ協議会】 100人パトロール×SNSピリカによるごみ拾い





子どもを守るネットワークの一斉パトロール時にごみ拾いを実施。併せてゴミ分別の教育や防犯講話も実施。

【日見地区コミュニティ連絡協議会】 日見まつり×防災×職場体験





日見まつりの出店展示に地元消防団にお願いして消防自動車の展示、消火器による消火体験を行い、防災の意識を高めた。また、中学校や高校と連携して学習発表や、eスポーツの体験コーナーの担当として参加!

13

③協議会同士の連携、自治会との連携

【三重小学校区まちづくり協議会× 鳴見台小学校区コミュニティ協議会】 三重「盆踊りの継承」×鳴見台「鳴小校区夏祭り」





鳴見台が主催の夏祭りのステージイベントとして盆踊りを開催するため、三重地区の盆踊り継承事業と連携し、事前に盆踊りの練習会、当日は三重小の子どもたちも参加し、盆踊りを盛り上げた。

【北陽小校区コミュニティ協議会×大園コミュニティ】 北陽「ホクホクまつり」

×大園「おおぞのレスキュー」





小学校区が隣接するため、北陽ホクホクまつり会場の一部を おおぞのレスキュー用に開放してもらい同時開催することで、 小学校区同士の交流ができた。

15

【手熊小学校区まちづくり協議会】 ゴミ宝探しさるく





学校開放週間にあわせて実施することで参加者増!また、小学校で作成した危険箇所マップを使って地域の巡回パトロールを行うとともに、危険箇所を確認して回ることで防災意識の向上につながった。

【大園小校区コミュニティ協議会】 ×北陽小校区コミュニティ連絡協議会 ピカピカ大作戦





毎月第3土曜日に開催している「大園地コミ」「北陽地コミ」の合同清掃活動。合同で実施することで、人材が確保でき、スタッフの負担軽減や参加者を増やすことにつながっている。

【茂木コミュニティ連絡協議会】 茂木花火大会復活(連合自治会×若者×協議会)





連合自治会、若人の会、地コミの三者協働で実行委員会を結成し、花火大会を復活させた。

【高城台校区コミュニティ連絡協議会】 輪っしょい祭り





地コミが主催として地域のお祭りを初めて開催!地元企業の協賛や消防団は会場整理、司会は中学生、くじ引きは校長先生が担当するなど地コミの体制があったからこそ様々な団体が連携して開催することができた!

【深堀地区コミュニティ協議会】 夏休み深堀サマースクール活動





小学生の自主的な学習の場を作ろうと、ボランティアの大学 生の力も借りて、夏休みの宿題を見る場や、お寺の住職に地域 の歴史を学ぶ場をつくった!

【福田小学校区コミュニティ連絡協議会】 もちつきとイルミネーション



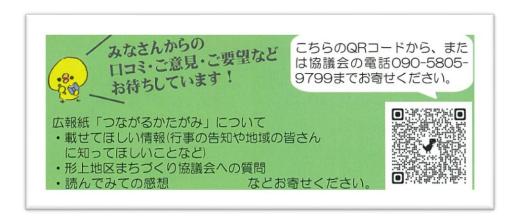


ボランティアの大学生にもちつきの準備とイルミネーションの設置を協力してもらうことで、学生は、地域の方と交流できる機会になり、地域の方にとっても負担軽減につながった!

④ 協議会の運営の工夫

【形上地区まちづくり協議会】 かたがみカフェ、SNS活用





全世代の住民が楽しく集まって話ができる場や学びの場となることを目指して 定期的に開催。この場で出た話題などが実際に事業につながるなど、様々な地 域の声に耳を傾ける地域づくりを行っている。

その他にも、地コミの広報誌へ載せてほしい情報や行事の告知などを二次元 バーコードから簡単に回答できるようにし、地域の情報媒体として活用している。

【北陽小校区コミュニティ連絡協議会】 大型テレビ掲示板での周知動画上映(×自治会)



地コミの事業内容及び実施報告の動画を作成して滑石地区ふれあいセンター内の大型テレビ掲示板で上映し、地コミ活動の周知や自治会加入促進のPRもしている。

【村松小学校区まちづくり協議会】 若い世代への周知のためSNS活用・CMの放映

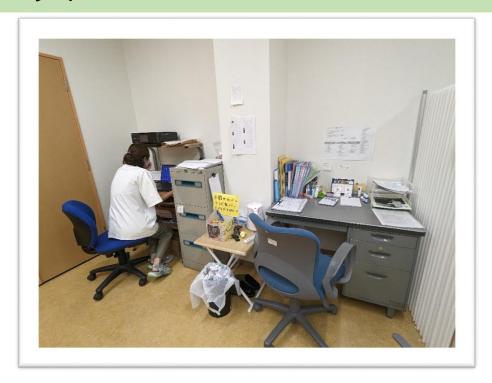




地コミのインスタグラムを活用したり、地域住民を集めて撮影したCMをデジタルサイネージやテレビ、YouTubeで流すなど、積極的な情報発信に取り組んだことで、多くの人から反響を得ることができ、地コミのことを知ってもらうきっかけになった!

【矢上みらいまちづくり協議会 ×高城台校区コミュニティ連絡協議会】 事務局雇用に関する工夫





矢上地区と高城台地区の2地区が同じ事務所を使っている。 また、担当する事務局員を2つの協議会で1人雇用し、協議資料や会計事務を行っている。

【土井首地区コミュニティ協議会】 どい活ミーティング





自治会の課題である未加入、脱退、若者の参画などの問題を 地域としてどう考えるかを自治会長と若手が集まって、意見 を出し合う場を地コミが作っている。

施差不完動成果物

【高尾、土井首、鳴見台、三重、脇岬 ほか】 のぼり、看板、横断幕、チラシ





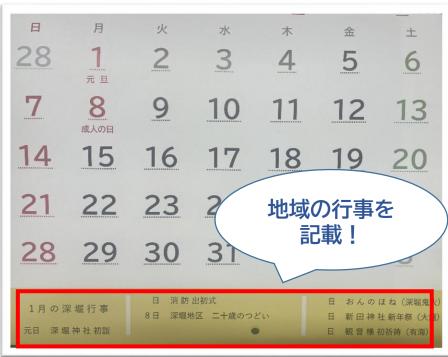




地域の将来像を記載して地域全体で目標を共有! 地コミの周知にも一役買っています!

【深堀、横尾、池島 ほか】 地域カレンダー





地域のイベントを落とし込んだカレンダーを作成して ます。これで年間の行事を確認できます!

【多数の地コミ】 ベスト、ジャンパー、広報誌など







地コミの存在を地域へ周知! 地域のために活動している組織があることを知って もらう機会にもなります。

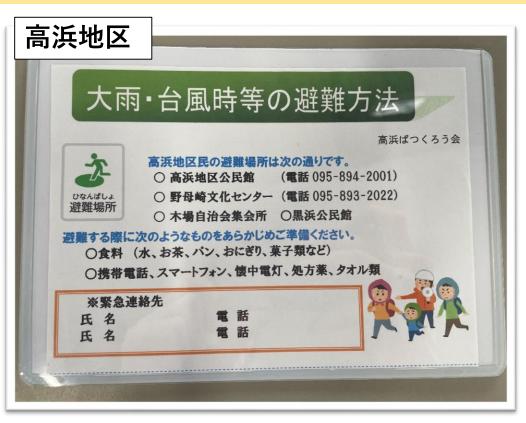
【古賀 ほか】 歴史・史跡マップ、パンフレット



地域の史跡などをまとめたマップを作成! 歴史を実際に見て学ぶことができます!

【福田·高浜 ほか】 防災マップ・防災マグネットシート





危険箇所や避難所を示した防災マップ・マグネットシート を作成!地域ごとの避難情報などがすぐ分かる!

【矢上・横尾・戸町・大園 ほか】 「ながら見守り隊」の缶バッチ・リストバンド

大園地区 (リストバンド)



装着して「ながら見守り」! 地域全体で子どもを見守るという意識が生まれます。

【横尾、大園、北陽】 リストバンド・「こども110番の家」ステッカー 【北陽】 「こども110番の家」マップ





「こども110番の家」の目印に!缶バッチやリストバンドと同様に、防犯の面でも大活躍しています。

【古賀(鶴の尾町自治会『助っ人隊』)】 入院お助け袋



自治会員の有志で結成された『助っ人隊』の活動の一環として、高齢者が入院するときの必要物品を詰め合わせたものです!コロナ禍のときは、感染対策グッズも追加するなど年々アップグレード! 急に入院!といったときに大活躍!!

地域コミュニティ推進室ホームページのご紹介

長崎市 地コミ







で検索!

その他、地コミの紹介動画はこちらから!

「地コミってなに?」をわかりやすくまとめた 動画を作成しました!ぜひご覧ください!